

家庭

5/6年生

「快適な住まい方や着方を考えよう」

「換気」を軸に、 快適な住まい方を考える

1 題材についての考え方と 配慮したいこと

これまで課題選択となっていた「暖かさ、風通し、明るさなど」に関する学習は、新学習指導要領では「暑さ・寒さ、通風・換気及び採光」と改められ、すべての内容を児童に学習させることとなった。自分の生活を振り返り、着方や住まい方を見つめ、考え、見直す過程で、快適さを追求できるようにさせたい。

下記では、身近な話題から換気的重要性や必要性を実感させ、自分にできることから住生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てていくための学習を紹介する。

学習の中では、全体・少人数・二人組などで、話し合いや発表をすることで、言語活動を取り入れる。学習を言葉できちんとまとめることが、調べたことや考えたことや体験したことを、技能や知識としておさえることにつながる。

2 学習の流れ

- ①自分の家の、窓や換気扇の場所と数を調べてくる。
- ②なぜ窓や換気扇があるのか、それぞれの役割を考える。

❖ 窓：どの部屋にもあった。

→風通しをよくする。光が入るようにする。

❖ 換気扇：風呂場やトイレやキッチンにあった。

風呂場→湯気(水蒸気)、温度、湿度を追い出す。

トイレ→においを追い出す。

キッチン→湯気(水蒸気)、熱、油、ガスを追い出す。

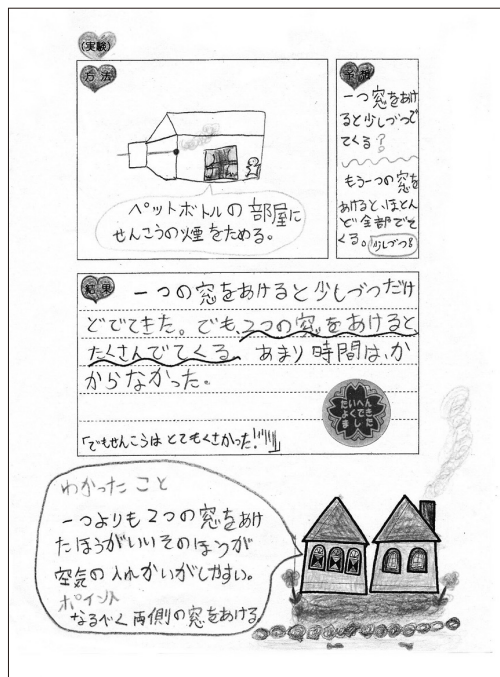
- ③換気に関連するニュース記事を読み、内容や原因をまとめる。(換気が不十分のため、一酸化炭素中毒になったなど)
- ④換気の実験をする。
→簡単な実験を通して、換気による空気の流れを実際に目で確かめる。



簡単に作れる換気の実験器具

<方法>

1. ペットボトルに線香の煙をためる
 2. 片側に窓を開けて、煙の様子を観察する
 3. 反対側にも窓を開けて、煙の様子を観察する
 4. 煙の色やにおい、上の2・3で煙がなくなるまでの時間を調べる
- ⑤ 結果をまとめ、自分たちが生活の中でできることを考える。



学習を通じて換気の大切さがわかり、快適に住まうために自分ができることとして、換気の仕方を工夫できるようにさせたい。